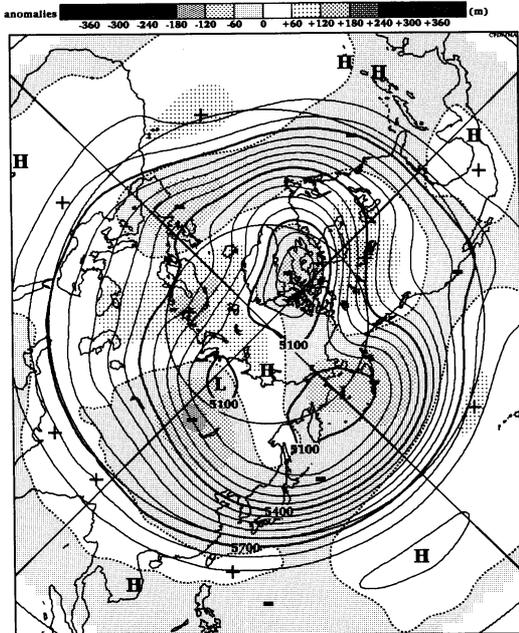


2001年1月の大気大循環と世界の天候

大気大循環

北半球500 hPa 高度場では極渦がカナダ北部と中央シベリアに分かれていた。カナダ北部のクインエリザベス諸島は負偏差で、北アメリカ中部では広く正偏差だった。ヨーロッパ西部は負、ヨーロッパ東部からロシア西部、北極海の東半球側にかけては正、西シベリアから日本付近にかけて負の偏差が卓越した。太平洋北部は負偏差となり、その南では広く正偏差に覆われた。亜熱帯ジェットは、エジプト付近とチベット周辺、太平洋中部で北偏し、日本付近では平年並の位置にあった。北アメリカから大西洋西部にかけてのジェットに伴う強風域は平年より南寄りで、南北の幅が狭く、東西に伸びていた。

850 hPa 高度および風ベクトル分布図によると、西部から中部太平洋赤道域では強い東風偏差が、大西洋からアフリカにかけての赤道域では西風偏差が分布した。200 hPa の大規模発散域の中心はオーストラリア北西の120°E にあり、平年に比べて25度西側に位置した。SOI (南方振動指数) は+0.8で、6か月続いて正の値となった。



2001年1月の北半球月平均500 hPa 高度および平年偏差
等値線間隔は60 m, 偏差パターン間隔は60 m, 平年値は1979~1993年のECMWF15年再解析データによる。

世界の天候

① 中央シベリアから中国東北区の低温

ロシアのイルクーツクで -25.6°C (-7.4°C)。

強い寒波により各地で燃料不足の被害、シベリアで低温による死者、モンゴルや中国で大量の家畜の死亡が伝えられた。

② バイカル湖付近から東日本の多雨

③ ヨーロッパ西部の多雨

スペインのバリャドリッドで126 mm (318%)。

月初めにイギリスやフランス、スペインなどで嵐や洪水による被害が報じられた。

④ トルコの少雨

トルコのアンカラで7 mm (18%)。

⑤ カナダ南部から米国北部の少雨

カナダのエドモントンで2 mm (9%)。

⑥ 米国南部の多雨

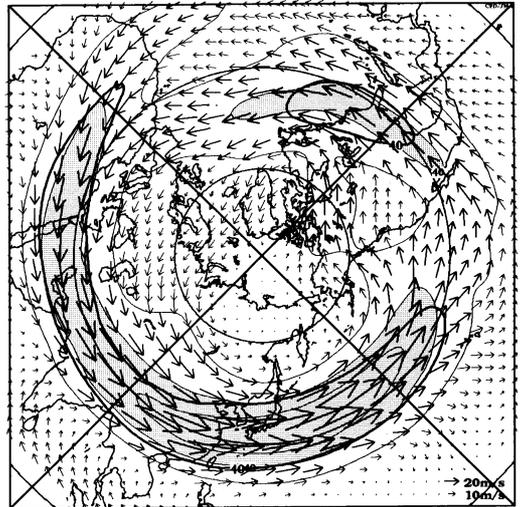
⑦ アルゼンチン北東部の多雨

アルゼンチンのブエノスアイレスで338 mm (269%)。

ブエノスアイレス周辺で暴風雨による被害が報じられた。

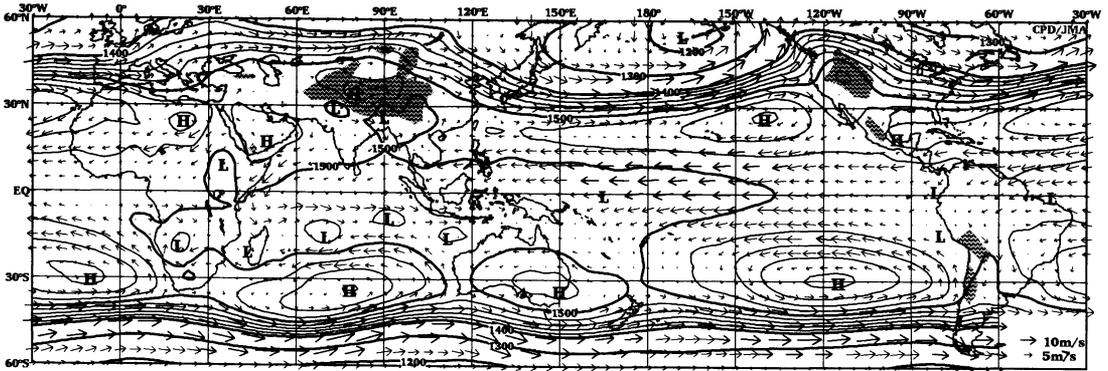
⑧ オーストラリア南東部の高温

(気象庁気候・海洋気象部気候情報課 兼城 薫)

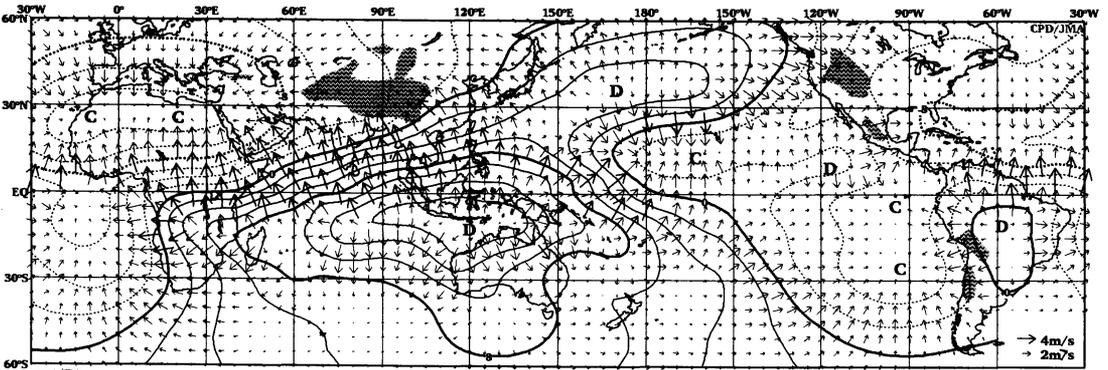


2001年1月の北半球月平均200 hPa 風速および風ベクトル

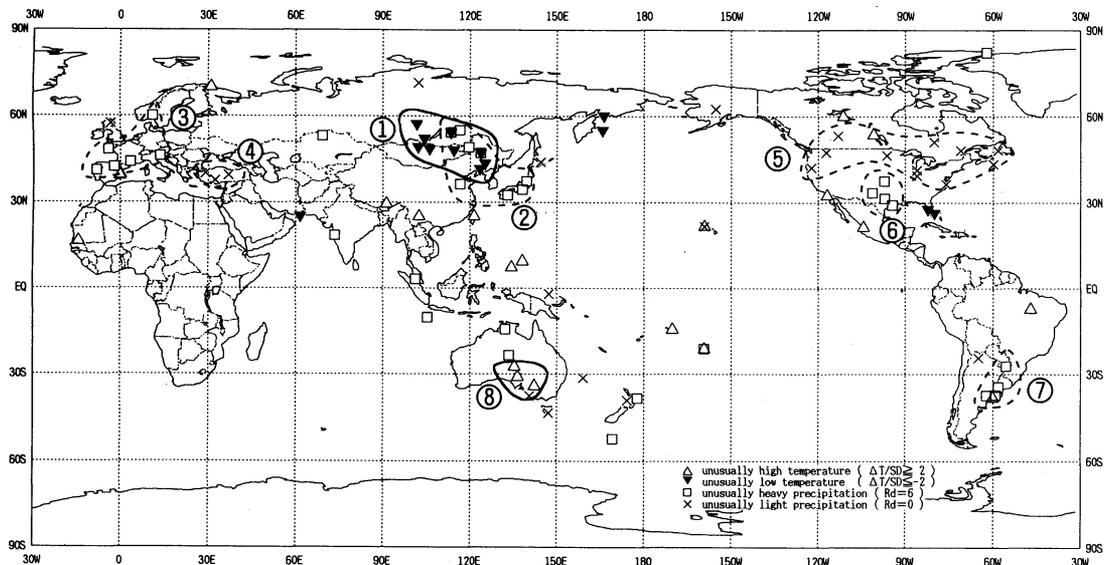
等値線間隔は20 m/s, 陰影部は平年で40 m/s以上, 平年値は1979~1993年のECMWF15年再解析データによる。



2001年1月の月平均850 hPa高度および風ベクトル 等値線間隔は20 m (1400 mまでは100 m)



2001年1月の月平均200 hPa速度ポテンシャルおよび発散風ベクトル 等値線間隔は $2 \times 10^6 \text{ m}^2/\text{s}$



2001年1月の世界の異常天候分布図 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨
異常高温・低温は標準偏差の2倍以上, 異常多雨・少雨は降水5分位値が6および0. 図中の番号は本文中の番号と対応している.